

## 平成 26 年度第 2 回ハンセン病療養所入所者に関するボランティア研修会を開催しました！

研修会当日は天候にも恵まれ、滋賀県からボランティアの方たちとバスに乗って岡山県にある療養所を訪問しました。

各療養所の納骨堂で献花をし、お参りをしました。納骨堂では、大勢の方の骨が納められていますが、常に線香が焚かれ、訪問者による供花が途切れることがないようです。

日帰り研修のため、少し急ぎ足ながらも、長島愛生園歴史館で学芸員さんのお話を聞き、ハンセン病問題について、また、現在の療養所の問題について認識を新たにしました。

邑久光明園での入所者の方々との交流会では、邑久光明園より 7 名の方がご参加くださいました。短い時間でしたが、滋賀県に関するお話やご自身の近況など話に花を咲かせておられました。

### 記

1. 実施日：平成 26 年 11 月 11 日（火）8：30～18：45
2. 場所：国立療養所長島愛生園、国立療養所邑久光明園
3. 実施団体：滋賀県、公益財団法人滋賀県健康づくり財団
4. 内容：ハンセン病療養所を訪問し、入所者の方々との交流および献花、歴史館の見学

5. 当日の様子等



写真①（長島愛生園歴史館の特別展）



写真②（長島愛生園歴史館の展示資料）



写真③（納骨堂での献花の様子）



写真④（長島愛生園歴史館見学の様子）



写真⑤（長島愛生園歴史館見学の様子）

## 6. 参加者の声

- ・天候にも恵まれ、楽しい一日を過ごさせていただきました。入所者の方と春秋とお目にかかれ、また来年もと思っております。ありがとうございました。
- ・今後入所者数が減っていくという厳しい現実がありますが、このような研修会は大切であると思います。
- ・ハンセン病の理解と人種差別について、愛生園での説明を受け、差別を温存してはならないと再度理解を改めました。
- ・療養所の方が7名参加していただきましたことを有難く思います。同時にさみしい感じも禁じ得ません。このまま続けて下さい。